

[参考資料] 用語解説

用語	解説
あ行	
アグリビジネス研修	県が行う、県内農業者等の経営革新や新分野へのチャレンジなどに関する体系的な研修及び法人設立に向けた研修のこと。
アシスト機器	人が着用することで重量物の上げ下ろし等を行いやすくする「アシストスーツ」など、作業負担を軽減するための機器装置のこと。
暗渠排水	ほ場の中に連続した有孔管を埋設し、地下水位を下げることで、ほ場の排水不良を解消すること。
EOD	花き等に対し、日没後（EOD：End Of Day）の時間帯に加温や光照射を行うことにより開花や草丈伸長を促し、栽培期間中の光熱費を削減する生産技術のこと。
育成牛の預託育成	酪農家から乳用雌子牛を受け入れ、酪農家に代わって哺育・育成をすること。
一次・二次加工	【一次加工】農畜産物などの原料を大きく変えずに、物理的あるいは微生物的な処理や、最小限の加工を行うこと（野菜等のカット、ボイル、果汁搾汁など）。 【二次加工】一次加工により製造された食品を1～2種類以上使って、変化に富んだ食品に加工すること（一次加工品の酵素処理（ピューレ化）やジャム加工など）。
「イノシッシ団」	県内の地域からの要請を受けて、鳥獣被害防止のボランティア活動を行う団体のこと。
「植え子」 「切り子」	「植え子」…らっきょうの植え付けを手伝う作業員のこと。 「切り子」…らっきょうの葉と根切りを手伝う作業員のこと。
畝立同時播種	畝立てと同時に播種することにより、大豆の湿害による発芽不良、及び生育時の湿害による生育停滞を防止する手法のこと。
営農排水用機械	ほ場の水はけを良くするための機械で、心土破砕機（作物の根の伸長を助けるため、固結した地盤を破砕する機械）、弾丸暗渠せん孔機（土中に下水管のような穴を作る機械）等をいう。
エコファーマー	平成11年7月に制定された「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律（持続農業法）」第4条に基づき認定を受けた農業者のこと。
FRPM管 塩ビ管	【FRPM管】引っ張り強度に優れたガラス繊維強化プラスチック（FRP）と圧縮強度に優れた樹脂モルタル（Resin Mortar）とを複合した強化プラスチック複合管（Fiberglass Reinforced Plastic Mortar Pipes）のこと。 【塩ビ管】強度・耐食性・耐震性・耐久性・施工性に優れた塩化ビニル樹脂を主原料にした管のこと。
FSSC22000	食品安全認証財団(The Foundation of Food Safety Certification)が、食品安全管理のための規格であるISO22000とPAS220を組み合わせで開発した規格のこと。

用語	解説
か行	
改良燃焼法	果樹園等での霜害を防ぐため、パール缶等にロックウール、灯油を用いて燃焼させ、園内が低温になるのを防ぐ方法のこと。
家族経営協定	家族農業経営にたずさわる各世帯員が、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき取り決める協定のこと。
学校給食用食材県産品利用 (地産地消) 推進会議	県内の学校において、地産地消の推進を図ることを目的に、学校給食関係者、農林水産関係団体等で組織される会議のこと。
通いコンテナ	青果物出荷時にその都度廃棄される段ボール箱にかわり、鉄製コンテナなど再利用が可能なものとして用いられる容器のこと。
緩衝帯	耕作放棄地や未利用地に牛を放牧することで、野生鳥獣を農地や人家に近づけないようにする領域のこと。
がんばる農家プラン事業 がんばる地域プラン事業	【がんばる農家プラン事業】 県内の元気で意欲ある農業者や農家法人等が行う、創意工夫を生かした取り組みに対し、農業者等の作成したプラン（営農の計画等）に基づいた効果的な支援を行う（県）事業のこと。 【がんばる地域プラン事業】 県内の市町村、農協が、広域的な地域において、徹底した話し合いによる農業を核としたプランを策定するのに対し支援を行うとともに、プラン内容の実現のため総合的な支援を行う（県）事業のこと。
規格外農産物	農産物の出荷において、大きさや色、形などの定められた規格・基準に適合しないものとして選別されたもののこと。
基幹的農業従事者	自営農業に主として従事した者のうち、普段の主な状態が「主が農業」の者のこと。
牛床マット	牛の快適性や健康、スリップ防止のために牛舎内に敷くマットのこと。
共生の里	県内の農村と企業等の連携を県が推進し、農村と企業等が農地や農業用水路など地域資源の保全活動を行うほか、営農支援、特産品開発を通じた6次産業化などに取り組む活動のこと。
経営所得安定対策	販売価格が生産費を下回る作物（米、麦、大豆等）について、その差額を直接農家に交付すること等により、農業経営の安定と生産力確保を図るための国の政策のこと。
県農業経営基盤強化促進基本方針	「農業経営基盤強化促進法」に基づき、農業経営の規模の拡大、農地の集団化、その他農地保有の合理化を促進するため、各都道府県知事が概ね5年ごとに10年間を見通し定めた総合的な計画のこと。
後代検定	家畜や農作物の個体の遺伝的性質や形質が後の代にも現れるかどうか、数世代にわたり育成して調べる手法のこと。
コントラクター	飼料の収穫や耕起、堆肥散布等の農作業を請け負う組織のこと。

用語	解説
さ行	
細霧冷房	ノズルから噴霧された粒径 0.05 mm以下の細霧を速やかに気化させることで周囲から熱を奪い、ハウス等の内気温を低下させる加湿冷却法のこと。
作業受託組織	水稻苗の育苗や田植え、耕耘、収穫、防除などの農作業を請け負う組織のこと。
散水氷結法	果樹園等において、降霜時に散水して氷結させることで作物の温度が 0℃以下で凍結しないように保ち、作物への被害を抑える方法のこと。
飼槽	家畜に飼料を与えるための固定された容器のこと。
指導農業士	青年農業者の育成・指導に取り組む農業者のうち、地域農業の振興や農業・農村の活性化のために各都道府県知事が認定した者のこと。
シャープシューティング	餌でおびき寄せた鳥獣の群れを射手が一斉に射撃し、全量を駆除する狩猟法のこと。
集落営農組織	集落を単位として、農業生産に係る作業の全部又は一部について共同で取り組む組織のこと。
ジョイント栽培	栽培管理の簡易化と早期成園化のため、果樹栽培において複数の樹を接ぎ木でつなぎ合わせ、直線状の集合樹として仕立てる、神奈川県が開発した新しい栽培方法のこと。
上物率	牛の枝肉を「肉への脂肪の入り方」など4項目を5段階の等級で判定し、上位4等級以上の発生する割合のこと。
食のみやこ・やらいや農林水産業プロジェクト会議	県の各種農林水産業施策に対する意見・助言・協力の場として設置した、農林水産・商工関係団体、市町村会、鳥取大学等の代表者で構成される会議のこと。
水田フル活用	水田で主食用米以外の作物（麦、大豆、飼料作物等）や新規需要米（米粉用米、飼料用米等）、稲発酵粗飼料等の生産を推進する国の政策のこと。
水利システム	ダム、頭首工、水路など農業用水を供給するための施設が、ある一定の地域の農地を対象に円滑に機能するよう管理する方法のこと。
スピードスプレーヤー	果樹園等において、病虫害防除の目的で農薬を効率よく散布するために用いられる薬剤噴霧機のこと。
全国和牛能力共進会	（公社）全国和牛登録協会の主催により、5年に一度、全国から選抜された和牛が一堂に会して、和牛（黒毛和種）の改良の成果と肉質の良さを競い合う品評会のこと。
粗飼料	生の草の他に、茎葉を乾草（乾燥）、サイレージ（乳酸発酵させて貯蔵性を高めたもの、塩又キの漬け物のようなもの）にして貯蔵した牛のエサのこと。
た行	
大豆の摘心栽培	大豆の生長点を摘むことで枝分かれを増やし、着莢数も増えるので茎が太り倒伏しにくくなり、よって収穫量が増える栽培方法のこと。
多面的機能支払交付金（農地維持支払）	農業の持つ国土保全や水源涵養、生態系保全等の多面的機能を維持・発揮させるため、地域・住民が共同で行う、水路や農道等の維持管理活動に対する支援制度（国）のこと。

用語	解説
地下かんがいシステム	用水路と暗渠排水管上流部を接続し、かんがい用水を注水することで暗渠管を通じて地下水位を上昇させ、水分を供給する方式のこと。
畜種転換	収益性や労働条件等を考慮し、現状とは別の家畜種の生産へ転換すること。 例) 酪農から和牛繁殖経営へ転換 等。
中山間地域等直接支払	平地と比べ農業生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正するため、5年以上の農業生産活動を行う農業者等に対して支援する助成制度（国）のこと。
超急傾斜農地への加算措置	中山間地域等直接支払において、棚田など特に傾斜度の急な農用地を対象に交付金が加算される措置のこと。
直播	育苗等をせず作物の種を直接農地へ播種する栽培方法のこと。
TMRセンター	粗飼料、濃厚飼料、ミネラル、ビタミン、添加物等を混ぜ合わせ、乳牛に必要な栄養素をすべて含んだ混合飼料（TMR（total mixed rations））を地域の酪農家に供給する組織のこと。
定年帰農者	農村出身者が定年退職後に故郷の農村へ戻り農業に従事すること。また、出身地を問わず、定年退職者が農村に移住し農業に従事すること。
篤農技術	農業に対する知識や経験が豊富な農業者の卓越した技術のこと。
鳥取県産業振興条例	県産品の利用（地産地消）の推進や県内事業者への発注促進、県内事業者のための施策立案など、県の産業振興を掲げ平成 23 年 12 月 27 日に制定された県条例のこと。
鳥取県版農の雇用支援事業	雇用による新規就農を促進するため、農業法人等が就農希望者を雇用し、農業技術や経営ノウハウの習得を図る実践的な研修の実施を支援する助成事業（県）のこと。
鳥取県6次産業化推進会議	農林水産業の6次産業化を推進し、農林水産業の振興と地域経済の活性化を図るため、関係機関が情報共有や推進検討等を行う県域の推進組織のこと。
とっとり農商工こらぼネット	農商工連携や6次産業化に取り組む意向を持つ方々の相談に応じ、関係機関が連携してきめ細やかなサポートを機動的に行う組織のこと。各商工会議所や商工会連合会、公益財団法人鳥取県産業振興機構や地方独立行政法人鳥取県産業技術センター、県等の関係機関で構成される。
とっとりフードコンソーシアム	食に関わる民間事業者、農林水産団体、商工団体、金融機関、大学研究機関等で構成され、連携協力や会員からの意見提案、食品加工のマッチング等を展開する情報の相互共有化を図る場のこと。
鳥取6次産業化サポートセンター	農林漁業者等をはじめとした6次産業化に取り組む意向を持つ方々の相談に応じ、きめ細やかなサポートを行うため、各都道府県に設置（本県は公益財団法人鳥取県産業振興機構）された総合窓口のこと。

用語	解説
な行	
日本型直接支払制度	農業の持つ多面的機能（国土保全、水源かん養、生態系の保全等）の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援する助成制度（国）のことであり、「多面的機能支払」、「中山間地域等直接支払」、「環境保全型農業直接支払」の3つの制度で構成されている。
日本再興戦略	アベノミクスと称される国の三本の矢の政策の一つとして策定された戦略のこと。大胆かつスピードを持った成長戦略として、農林水産業を成長産業にするための各種政策が提言されている。
認定新規就農者	青年等就農計画が市町村に認定され、重点的に支援措置を講じる対象となった新規就農者のこと。
認定農業者	農業経営改善計画が市町村に認定され、重点的に支援措置を講じる対象となった農業者のこと。
農観連携	農山漁村地域が持つ魅力を観光資源として活用し、農山漁村の活性化を実現させること。
農業生産工程管理（GAP）	ガイドラインに規定される点検項目に沿って、農業生産活動の各工程の正確な実施、記録、点検及び評価を行うことによる持続的な改善活動のこと。
農地中間管理機構	農地中間管理事業を実施するため、農地中間管理事業法により各都道府県に1つ設置（本県では（公財）鳥取県農業農村担い手育成機構が指定）されている機関のこと。
農地中間管理事業	農地を貸したいという農家（出し手）から農地を借り受け、農業経営の効率化や規模拡大を進めたい担い手農家（受け手）へ、農地の利用を集積・集約化させるため、農業構造の改革と生産コストの削減を実現していく事業のこと。
は行	
バイオマス	生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉で、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のこと。
HACCP 農場HACCP	【HACCP】食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析（Hazard Analysis）し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点（Critical Control Point）を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法のこと。 【農場HACCP】畜産農場における衛生管理を向上させるため、農場にHACCPの考え方を採り入れ、農場段階で危害要因をコントロールする手法のこと。
発情発見機	牛が発情すると運動量が増えることから、運動量を測定し発情行動を把握する機械のこと。受精適期が分かるため、受胎率の向上が期待できる。

用語	解説
ハラール	1つはイスラム法において合法的なもののことで、主として食べ物を示す（豚肉やアルコールは除外）。もう1つは健康的、清潔、安全、高品質、高栄養価であることをいう。
肥育素牛	肉牛として出荷するために、飼育を開始する前に市場等から購入・調達する子牛のこと。
人・農地プラン	持続可能な力強い農業の実現に向けた国の政策の中で、それぞれの集落・地域において徹底的な話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を一体的に解決するために市町村が決定する「未来の設計図」のこと。 地域での話し合いにより、今後の中心となる経営体、将来の農地利用のあり方、近い将来の農地の出し手の状況、地域農業のあり方等を記載する。
フードバレー（豊かな食と技術の集積地）	1997年、食の科学とビジネスに関する商品やサービスを創造するために、オランダの産学官が一体となってワーヘニンゲン市に築いた世界規模の食品研究開発拠点のこと。
ま行	
まち・ひと・しごと創生総合戦略	人口急減・超高齢化という大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かしながら、自律的で持続的な社会を創生できるよう、総合的かつ計画的に対策を実施するため、平成26年12月に政府が策定した計画のこと。
ムカゴ種芋増殖技術	鳥取県が開発した長いもの品種「ねばりっこ」の高品質な芋の生産効率向上のため、栽培期間の短縮や確実な種芋の確保につながる技術のこと。
ムスリム	「（神への）帰依者」を意味するアラビア語で、イスラム教徒のこと。
メディアキャンペーン	テレビ、新聞、雑誌、ラジオ、インターネットなどのコミュニケーション媒体を活用し宣伝活動を行うこと。
や行	
やらいや果樹園	地域ぐるみで果樹園の継承に取り組むことを条件として、新品種の植栽等に高率補助を行う事業（県）のこと。
ら行	
酪農基幹牧場（メガファーム）	年間の生乳生産量が数千トン以上の大規模な酪農経営を行う牧場のこと。
酪農ヘルパー	酪農家が休暇を取得した際に、酪農家に代わって搾乳や飼料給与などの作業に従事する者のこと。
リレー出荷	同一作物内で様々な収穫時期の品種を組み合わせ、その作物を長期間安定的に消費地に提供する出荷体系のこと。

用語	解説
6次産業化・農 商工連携	<p>【6次産業化】農林水産物等及び農山漁村に存在する土地、水その他の資源を有効に活用して、一次産業としての農林水産業と、二次産業としての製造業、三次産業としての小売業等の事業との総合的かつ一体的な融合を図る取組のこと。</p> <p>【農商工連携】農林水産物等及び農山漁村に存在する土地、水その他の資源を有効に活用して、農林漁業者と商工業者の方々がお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むもの。</p>